

評議會第三回全口大会に対する政府の暴圧

労働者大衆諸君！

去る三月八日より四日間大阪に於て開催された、我が評議会
大会に加へられたる政府の露骨なる圧迫を諸君は記憶せらる
るであらう。

代議員の言論に、祝辞祝電に対してまで、真に氣狂じみた圧迫
振りであった。

殊に大会に提出された

(一) 太平洋労働會議支持に関する決り案

(二) 対支非干渉運動に関する決議案

(三) 日ソ同盟に對する鏡光團派違に関する決り案

等の撤回命令は、彼等の圧迫が何を意向してゐるかを識るに充分である。
大会は此の暴圧に對し、直ちに抗ぎ委員を選出派遣し、命令の撤回を要
求した。

命令を撤回せらば覺悟がある。理由は言叫び限りた非
ず。と言ふのが、抗ぎ委員に對する彼等の態度であつた。